



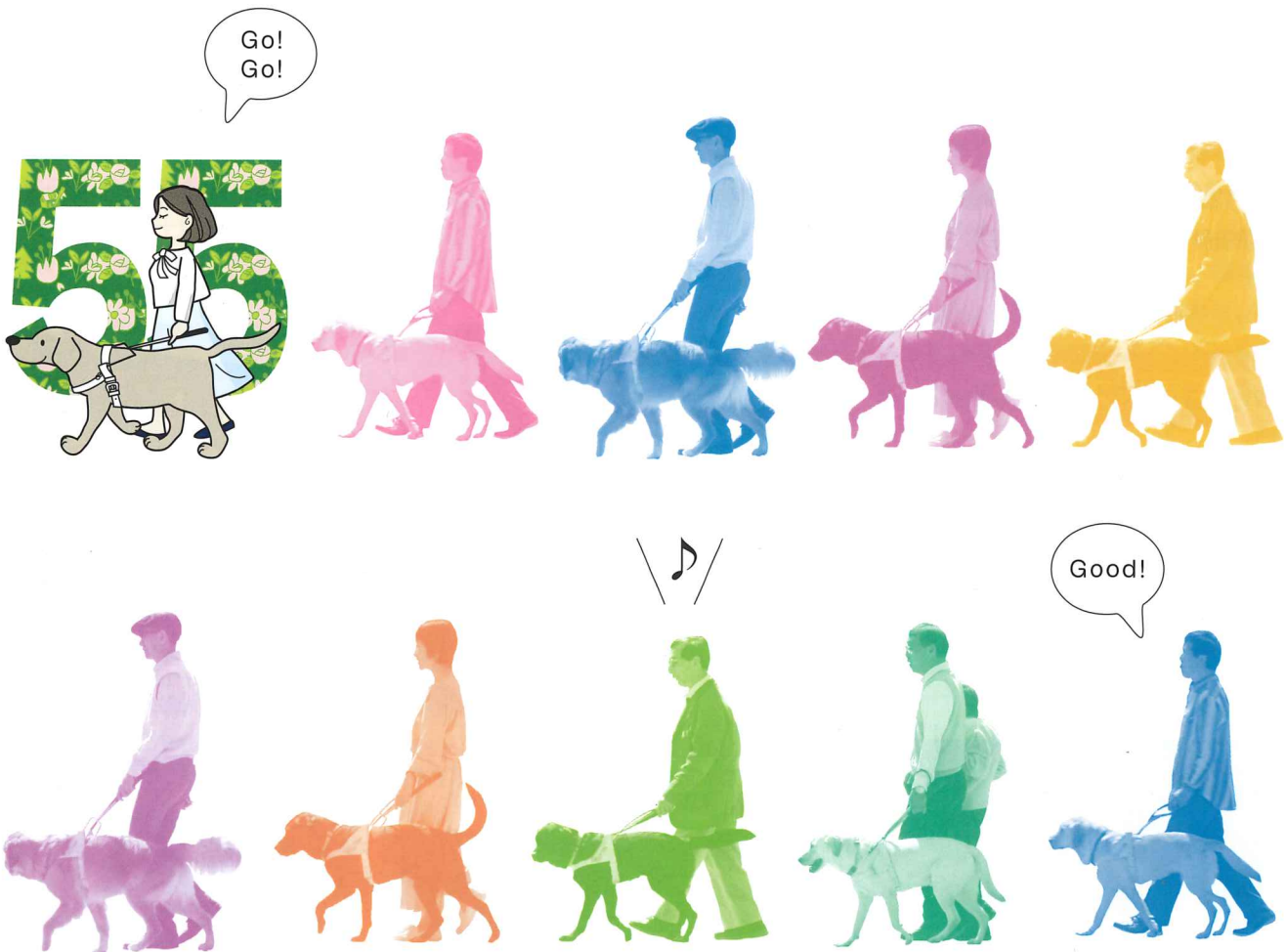
みなさんと日本盲導犬協会を結ぶ会報です

盲導犬くらぶ

公益財団法人 日本盲導犬協会
発行人 井上 幸彦
223-0056 横浜市港北区
新吉田町6001-9
TEL.045-590-1595
FAX.045-590-1599
<https://www.moudouken.net/>

盲導犬と歩く

その想いに寄り添い、
全力でサポートします



日本盲導犬協会は、1967年8月10日の創立以来55年間で1,025頭(2022年6月末現在)の盲導犬を送りだしてきました。
2017年10月には、創立時からの理念と歩みをまとめた『盲導犬と歩く 日本盲導犬協会50周年記念誌』を発行。
今号の表紙は当時のカバーデザインをモチーフにしています。
いつの時代も私たちの使命は変わりません。未来へ向けてさらにまた一歩踏み出します

TOPICS!

主なできごとの中から
ピックアップ

協会設立55周年 新役員も決まり、新たなスタート!



日本盲導犬協会は2022年で55周年を迎えました。これまでに1,025頭(2022年6月末現在)の盲導犬を育成し、目の見えない人、見えにくい人が行きたい時に行きたい場所へ行くことができるように、盲導犬の育成と視覚障害者のQOL向上に貢献してきました。

今後は、SDGs達成期限の2030年へ向けて策定した中長期計画に沿って、事業促進と社会環境の整備をさらに進めていきます。

なお、協会役員の任期満了に伴い6月に改選を実施、新役員が決定しました。ご報告申し上げます。

■理事・監事一覧

理事長	井上 幸彦	理事	高野 秀一	監事	石田 通野
副理事長	植野 寿憲	理事	松浪 芳郎	監事	兼山 嘉人
常任理事	勅使川原 直彦	理事	志賀 こそ江	監事	釧持 嘉朗
常任理事	田上 静之	理事	土田 智子		
専務理事	山口 義之	理事	天間 勝治		
常任理事	多和田 悟	理事	平野 啓子		

■評議員一覧

石松 茂樹	清水 一政
井上 潤吾	鈴木 均
大胡田 誠	高柳 友子
岡見 宏道	塚田 哲也
加藤 宏一郎	西村 亮平
仮井 康裕	宮島 実
坂本 洋一	

(敬称略)

6月23日付で退任された評議員は以下の方です。長きにわたり協会運営にご尽力賜りました。心より御礼申し上げます。
評議員 加藤 聡 様 鈴木 立雄 様

日本盲導犬協会の歩み 2022.4.1~6.30

- 4月15日 第1回常任理事会
- 5月12日 第2回常任理事会
- 5月25日 第1回理事会・評議員選定委員会
- 6月14日 第3回常任理事会
- 6月23日 第1回評議員会・第2回理事会



↑5月21日 埼玉スタジアムで浦和レッズ主催の観戦体験会開催。5組の盲導犬ユーザーが参加し、より良い環境づくりに向けた改善案を出し合いました



↑5月30、31日 東京臨海高速鉄道の国際展示場駅で駅係員32人を対象に「視覚障害サポート・盲導犬受け入れセミナー」を開催しました



↓4月29、30日 西武秋田店で「盲導犬もっと知ってキャンペーン」開催。西武職員の誘導でPR犬と店内巡回、来店者へ理解を呼びかけました



↑6月26日 島根パピネスでパピーウォーキング修了式開催。6組のボランティア家族とパピープロジェクト関係者がパピーの巣立ちを見送りました。このあと訓練期間に入ります

補助犬法20周年①

「身体障害者補助犬を推進する議員の会」がシンポジウム開催

5月20日、衆議院第1議員会館で「身体障害者補助犬を推進する議員の会」により「2022ほじよ犬の日 啓発シンポジウム」が開催されました。補助犬の同伴拒否を禁じた身体障害者補助犬法の成立20周年を記念したもので、法の制定に関わった議員や補助犬ユーザーのほか、支援育成に関わる団体や行政の職員らが出席し、20年間の歩みと今後の展望が語られました。

盲導犬カエドと暮らす山本誠さん(「全日本盲導犬使用者の会」会長)は、医療現場での受け入れ拒否がまだまだあるものの「好事例を通じて、理解促進、受け入れに結び付けていきたい。それがスタンダードになっていけば」と語り、盲導犬プラムと暮らす杉田啓之さんは「わからないことがあれば尋

ねてほしい。お互いが尊重しあって希望を生き生きと実現したいと願う。私もみんなも。30周年へ向けての心からの祈りです」と語りました。



←オンラインを含めおよそ160人が参加した補助犬シンポジウム。会場には盲導犬ほか補助犬ユーザーも詰めかけ、法律成立当初の思いなどが語られました(写真提供:補助犬協議会)

補助犬法20周年②

協会実施のユーザー調査でわかったこと

協会は毎年、ユーザーからの相談事例をまとめた「盲導犬ユーザーの受け入れ拒否対応事例」を公開しています。2021年度は37件に対応。もっとも多く発生したのは医療機関で、背景にはコロナ禍における衛生意識の高まりがあると推測されます。たとえば「ワクチン接種会場で犬は入り口で待たせるよう」「受け入れ経験のある病院へ行ってほしい」「犬は土足」



→医療機関での受け入れ風景。協会は引き続き個別対応で助言を行うとともに、医療機関向けオンラインセミナー等を通じて一層の周知徹底を図っていきます

なのでコロナを持ち込むリスクが高い」など。事例発生の都度、協会は法律の説明と理解の促進、盲導犬の受け入れ方に関する助言、個々の施設に合ったルール作成などの支援を行っています。

また、2020年からは「コロナ禍の盲導犬ユーザー外出時や社会参加での困りごと聞き取り調査」を実施。困りごととしては「消毒液の置き場所がわからない」「床にあるソーシャルディスタンスの印がわからず並ぶのに困った」「スーパーでの買い物サポートに前日予約が必要になった」など。調査結果からは、ユーザーの外出減少と行動範囲縮小も推察されます。協会はスーパーや飲食店向けに接客のポイントを動画にまとめ、ホームページ上で公開。セミナーも行っています。

●各センター活動報告(4月~6月)

(2022年6月30日現在)

	神奈川訓練センター	仙台訓練センター	富士ハーネス	島根あさひ訓練センター
訓練・視覚障害サポート	共同訓練	3回	4回	2回
	パピーレクチャー	40回	14回	15回
	パピーウォーキング修了式	3回	2回	1回
	ユーザーフォローアップ	52回	38回	21回
	盲導犬説明会/盲導犬体験歩行会	10回	5回	8回
リハビリテーション	各種オンラインセミナー	2回		
	短期リハビリテーション	0回	1回(3人)	0回
普及推進活動	その他リハビリテーション	129回(110人)	195回(133人)	34回(34人)
	受け入れセミナー	10回	12回	10回
	小・中学生向け実演	4回	3回	6回
その他(雑誌など)	一般向け実演・贈呈式・募金活動等	24回	9回	37回

メディア掲載件数	
テレビ・ラジオ	27回
新聞	55回
WEB	192回
その他(雑誌など)	12回

4月4日..... 島根日日新聞(月間小学生新聞) 盲導犬の仕事や訓練などを紹介
 4月7日~5月24日... NHK「みみより」くらし解説(他2局新聞8紙WEB2件) 協会の盲導犬ユーザー受け入れ拒否実態報告の調査結果や対応事例について
 4月25日・27日..... 朝日新聞他WEB1件 協会の取り組みや富士ハーネスなどを紹介
 5月20日~6月9日... タウンニュース他WEB36件 協会配信リリース「2022年度業種別オンライン受け入れ・接客セミナー」より関連記事を掲載
 5月22日..... 聖教新聞他WEB1件 協会事業や島根あさひ盲導犬パピープロジェクトについて
 5月27日..... URAWA REDS NEWS 埼玉スタジアムでの浦和レッズ主催「盲導犬ユーザー観戦体験会」を紹介
 6月3日..... 富士ニュース 富士宮市主催、協会共催「見えにくい方のための相談会」を紹介
 6月10日・11日..... 産経新聞他1紙WEB2件 コロナ禍における協会への寄付や支援状況を紹介
 6月12日..... 東京新聞 盲導犬育成頭数減少の要因やコロナ禍での募金活動の減少、受け入れ拒否の実態などについて

※協会ホームページにも毎月の放送・掲載情報を公開しています。順次更新しますのでご覧ください。

スタートライン

みなさんのご支援に支えられて新しいパートナーと出会った共同訓練卒業生たち。喜びに満ち、まさにスタートラインに立ったところ

2022年5月までの共同訓練卒業生

●各ユーザーの紹介項目

ユーザー名・在住地(盲導犬歴)
盲導犬名(雄♂/雌♀) 犬種

- ①共同訓練期間
- ②パピーウォーカー名

●犬種記号

LR: ラブラドル・レトリバー
GR: ゴールデン・レトリバー

富士ハーネス

ジャーニーとともに これからの人生の “旅”を楽しみます

2008年の夏、家族で富士ハーネスを訪れました。盲導犬は「目がまったく見えない人しか一緒に歩けない」と思っていた水口さん。初めて「自分も盲導犬と歩いてもいい」のだと知りました。それまでは、見えづらさを感じながらも白杖は使用せず、わずかな視力を頼りに一人で歩いていました。しかし、自宅近くは車道と歩道の間に縁石などがなく、用水路の脇にガードレールがない場所もあって恐る恐る歩くため、5分程度で到着できる場所へ1時間かかってしまうことも。途中で階段を踏み外すこともあり、怖かったと語ります。

富士ハーネス訪問をきっかけに、家族の後押しもあって盲導犬歩行を決断。盲導犬と歩くと犬から教わる情報が多くて安心でき、一人ではない心強さも感じたと言います。

あれから14年。ジャーニーは水口さんにとって3頭目の盲導犬です。2頭目イクションとの別れが寂しかったこともあり、複雑な心境で迎えたジャーニー



水口 茂生さん

静岡県伊豆市 (3頭目)

ジャーニー (♂) LR

- ①2022.5.8～5.22
- ②渡辺 道哉さん



▶ジャーニーの首輪には、幸運をもたらすといわれる青い天然石「ラピスラズリ」が光ります。この天然石から命名された1頭目ラピス。2頭目イクションに次ぎ、3頭目ジャーニーにも同じチャームを付けて、歩いています

や2頭目イクションがいたからこそ、ジャーニーと楽しく訓練を終えることができました。

現在は、ジャーニーと毎日一緒に職場へ出勤しています。天気の良い日は3つの散歩コースをその日の気分に合わせて歩きます。歩いたことのある道は先読みをして指示より前に動いてしまうこともあるジャーニーですが、角や段差などを教えてくれた時には必ずほめて、次につなげるようにしています。

ジャーニーの名は英語で“旅”を意味します。「楽しい旅だった」と思えるよう、これからの日々を過ごしていきたいと胸を膨らませる水口さんです。

との共同訓練でしたが、初日からジャーニーは水口さんに甘えてべったり。人懐っこい性格で「受け入れてくれた」と感じたそうです。

“気持ちよく楽しく歩きたい”と臨んだジャーニーとの共同訓練は「とにかく楽しかったです」。当初は、ジャーニーのあわたんぼうな性格が出て歩行スピードが速くなり、引っ張られてしまうことも。すると、ハーネスを握る左手に力が入ってしまい、ジャーニーからの情報をきちんと感じ取ることができません。それでも訓練を重ねていくうちに、力の抜き方などを習得し、歩調が合うようになりました。

今回の共同訓練は、基本に戻るだけでなく、自身の歩行技術向上にもつながったと振り返ります。「1頭目のラピス

◀水口さん家族の中心的存在となったジャーニー。当初から、いびきをかき寝てしまうくらいリラックスしてなっていました。ジャーニーがいることで家族の会話がはずみます



島根あさひ訓練センター

今岡 秀子さん

島根県出雲市 (3頭目)

ヘンリー (♂) LR

- ①2022.3.1～3.12
- ②栗原 延貴さん



3頭目のパートナーであるヘンリー。これまで苦勞してきたことを難なくこなしたり、今までのパートナーと同様に周囲への気配りもできたり。十人十色というけれど、盲導犬も三種三様であることを教えられる毎日です。旅行好きな私。コロナ禍は消化不良な感じですが、県内の温泉宿巡りが今の楽しみです。収束後にヘンリーとの盲導犬ライフをさらに満喫すべく、太極拳やヨガ教室に通い、体力作りに励んでいます。早く来い来い、どこへでも出かけられる日よ!



両角 幾雄さん

長野県東御市 (3頭目)

ジェマ (♀) LR

- ①2022.3.18～3.29
- ②角田 厚子さん

新しい環境に少しだけ緊張をしてしまうジェマ。私と最初に出会った時も、一歩距離を置いているようでした。しかし、今では私の家族ともすっかり仲良くなり、家の中ではリラックスして過ごしています。よく行く歯科医院も、最初は立ち上がりたり座ったりと終始そわそわしている様子でしたが、落ち着いて待てるようになりました。繁華な場所などもジェマと歩くことができるように、日々の歩行をしっかり頑張っていきたいです。

仙台訓練センター



盲導犬と歩いて24年。白杖ではゴミ出しにも困るほど、盲導犬なしでの生活は考えられなくなりました。毎日、行動範囲を広げながら歩いています。クレアは初めての場所でも落ち着きがあり、ヒールが上手。横断歩道の段差をよく見つけ、一度利用したお店の入口はすぐ覚えます。クレアと今までの行動範囲を全部歩けるのは半年後かな。今は片道2キロのコースを歩き始め、次は電車に挑戦。8年間はあっという間！挑戦の日々は続きます。

寺脇 陽一郎さん 仙台市 (4頭目)

クレア (♀) LR

- ①2022.3.7～3.28
- ②森永 和加子さん



石川 順子さん

宮城県東松島市 (1頭目)

ラズベリー (♀) LR

- ①2022.3.15～4.12
- ②西方 一枝さん

初めて会ったときから尻尾をブンブンふって甘えてくるラズベリー。「なでて〜！」と膝の上に頭を寄せたままスヤスヤ寝ちゃう姿に、私も家族もメロメロです。共同訓練では上手いかわないことが山ほどありましたが、ラズベリーと歩く楽しさが原動力でした。誰かと一緒にないと出かけられなかった私が、ラズベリーとなら一人で買い物に行けた時には感激しました。これからのいろいろな場所へ出かけ、たくさん思い出を作りたいです。

仙台訓練センター

小宮 祐子さん
 仙台市 (5頭目)
ファナ (♀) LR
 ①2022.4.13 ~ 4.26
 ②淀川 和裕さん



コロナ禍で迎えた引退と共同訓練。引退前にライラと外出したくてもままならず、新たなパートナーとなったファナとも自宅時間が多くて、もどかしさを感じます。それでも、スラリとモデル体型のファナに合う服やレインコートを新調し、人混みを避けて出かけています。かかりつけの眼科や歯科医院では上手に待機してくれて安心しました。ファナとは歩み始めたばかり。ファナの性格や歩きの特徴をつかんでいき、楽しみたいです。

初対面の時、ディラは後ずさり。印象が悪かったのかと心配でしたが、やがて甘え始め、しまいにははしゃぎすぎて、ディラのお尻が私の顔面に直撃するほどに！家族で大笑い。幼さの残る動きに癒やされる一方で、お仕事はきっちりと懸命にこなしてくれ、歩きなれた道でもわずかな段差や駅裏のエレベーターのドア等、新たな発見があります。ディラが教えてくれることに気づき、しっかりほめてあげたいです。今日も息ぴったりに歩きます、ありがとうディラ。



酒井 正信さん 福島県南会津郡 (4頭目)
ディラ (♀) LR
 ①2022.4.25 ~ 5.6 ②立岩 大地さん

神奈川訓練センター



宇佐美 智子さん 茨城県日立市 (6頭目)
ホリー (♀) LR
 ①2022.2.20 ~ 3.11 ②望月 光義さん

ホリーが我が家に来てから、お掃除が大変なんです。というのも、最初は掃除中の私に付いてくるだけだったのですが、今では構ってもらおうと身体を私の脚にこすりつけてきます。おかげで、気が付くとなでなでタイムに突入。ホリーの誘い方が絶妙で、気を引き締めないと掃除が終わりません(笑)。でも、それだけ私を理解してくれたということかもしれません。これからもお互いの理解を深め合い、いいパートナーになれるよう頑張ります。



大城 喜和子さん
 東京都練馬区 (2頭目)
ヴァニラ (♂) LR
 ①2022.3.7 ~ 3.18
 ②久保 晴彦さん

ヴァニラは2頭目のパートナー。1頭目とは性別も性格も違い、最初は戸惑いましたが、ヴァニラはヴァニラでかわいくて、お互いに歩み寄ることができました。いつも2駅分を歩いているのですが、ヴァニラは歩くのが速いので、見かけた子供から「あー！あの速いワンワンだ」と言われることも。家では私に抱っこねだったり、次男と飛び回ってはしゃいでいます。旅行が好きなので、ヴァニラとあちこち行って、思い出をたくさん作ってみたいです。

細井 京子さん
 東京都世田谷区 (3頭目)
ジンジャー (♀) LR
 ①2022.3.14 ~ 3.25
 ②稲田 定博さん



新しいパートナーときちんと歩けるようになるのか・・・不安を感じながら臨んだ共同訓練でしたが、ジンジャーは安定感とスピード感のある歩行で自信を持たせてくれました。ご飯のときは「OK (食べていいよ)」と言っても「本当に食べていいの？」と迷うかわいい一面も。そんな時は何度か「OK」と伝えると喜んで食べてくれます。今はこのようなやり取りも楽しいです。コロナが収束したら、友達とたくさん食事に出かけたいです。

“大きな丘”という意味のスコットランド・ゲール語から名付けられたゴードン！子供たちに人気な英国の絵本に登場する機関車ゴードンは女王陛下のお出かけ列車を牽引する頼れる性格だとか。盲導犬ゴードンも機関車に負けていません。角や段差も上手に通過。車内では椅子までエスコートしてくれ、私は女王陛下のように優雅なお出かけができています。ゴードン、いつまでもこの調子で行きたいね。私たちの目指す駅はずっと遠く。今日も安全に出発進行！



岩間 幸子さん 横浜市 (2頭目)
ゴードン (♂) LR
 ①2022.4.25 ~ 5.6 ②刀稱 尚貴さん



中村 明雄さん
 千葉県茂原市 (2頭目)
ジャスト (♂) LR
 ①2022.4.25 ~ 5.12

一緒に歩き始めた頃は遠慮がちで、どこか他人行儀だったジャスト。今ではお腹を見せたり、前足で私をついて“触ってアピール”をします。そんなジャストのお気に入りにはエスカレーターに乗ること。近くを通ると「エスカレーターがあるよ！」と得意気に教えてくれるので、「Goodだね」や「今日は乗らないよ」という会話を楽しんでいます。コロナが落ち着いたら、妻とジャストと3人で、昔、新婚旅行で訪れた思い出のある北海道へ行きたいです。

3頭目のジーニーとの生活は、新たな挑戦の毎日です。ジーニーは甘えん坊でおとなしく、ケージから出すと私にピッタリ体を付けて甘えます。家の中での生活や排泄もほぼ問題ありませんが、外を歩く時は注意をしています。それは私が住んでいる小田原市は城下町なので、単純に向かい合っていない交差点があり、油断すると車道の真ん中に出てしまったり、思わぬところに行ってしまうことがときどきあるからです。ジーニーと安心して歩けるように頑張ります。



清水 健男さん
 神奈川県小田原市 (3頭目)
ジーニー (♂) LR
 ①2022.5.9 ~ 5.20
 ②関根 洋子さん

盲導犬育成を支える

ボランティア LIFE

一緒に過ごす時間「すべてが思い出」 メイジーのペースで楽しみたい

（仙台訓練センター
ケンネルボランティア ● 吉田さん一家 ● (宮城県名取市)
パピーウォーカー

これまで犬との暮らしで沢山の幸せをもらってきたという吉田さん一家。愛犬たちへの恩返しにと辿りついたのが、協会の犬舎ボランティアとパピーウォーカー（以下、PW)でした。

1 頭目パピーのダリアの時は、苦手の一つでも多く克服させてあげたくて必死でした。でも、預かり期間10か月が半分を過ぎた頃から「これまで以上に楽しい思い出をたくさん作りたい」と思い始め、気持ちが楽になったと言います。「桜も、紅葉も、ダリアと一緒に見られるのは今年きり」との薫さんの言葉に、伸一さんもダリアと一緒に過ごす時間をもっと大切にしたいと考えるように。今この時「すべてが思い出」になるとダリアから教わりました。

パ ピーウォーキング修了式を終えると、ダリアに会えない寂しさがどんどん募りました。もうパピーを預かるのは難しいとさえ感じ



◀左からメイジーに寄り添う吉田薫さん、夫の伸一さん、長男の航さん。メイジーの名は真珠に由来します。真珠の宝石言葉は「心を癒やす、守る」。名前のとおり家族の癒やしです。

ていた吉田さん一家でしたが、協会からの依頼で引退犬を一時的に預かることに。引退犬は毛並みがきれいで表情も穏やかで、かつての盲導犬ユーザーから大切にされていたことがひと目でわかったと薫さんは振り返ります。

預かり期間を終えて協会へ連れて行くと、ユーザーが用意したという新しい首輪が付けられました。「それがよく似合い、ほんとかわいくて。ユーザーさんの深い愛情を感じました」。自分たちができる恩返しをしたいと始めたボランティア活動がたしかに誰かにつながっている。薫さんは「盲導犬を必要としている人がいる、いつまでも泣いてられない」と再びPWに挑戦することを決めました。

今 は2頭目のメイジーと暮らしています。母犬がダリアと同じですが性格はまったく違います。人が大好きで物おじしないダリアに対し、メイジーはよく観察し考えてから動く性格で一步踏み出すまで時間がかかります。人と会う機会や外を楽しむ時間を5分でも10分でも作ろうとカートに乗せて日に何度も連れ出しましたが、それでも歩かず座り込んでしまうメイジー。リードの長さの分だけ薫さんが歩いては「カム」と呼び、来たらほめる！を根気強く繰り返していききました。メイジーのペースを大切にしよう心がけたと言います。

伸 一さんが「妻は観察が丁寧で関わりも上手、がんばってます」と話せば、薫さんは「がんばってるのはパピーでしょ」と笑います。「盲導犬を待っている人のため、そして何よりメイジー自身が将来幸せに楽しく暮らしていくために、私たちにできることはなんでもしたい」。ダリアに教わった、今この時「すべてが思い出」が吉田さん一家の合言葉です。



↑1頭目パピーのダリアとは、週末は季節を感じられる場所へ。ダリアの花言葉は「豊かな愛情」。いつまでもたくさん笑顔と愛情の中で過ごせそうです。



◀最初の頃「散歩には行かないよ」とリードを押しさえていたメイジー。気持ちの表現が上手です。今は何か気になることがあると「ちよっ」と待つことと押さえます。

心がふれあう

Heart to Heart

視覚障害や盲導犬について理解を深め盲導犬ユーザーが生き生きと安心して暮らせる社会を目指して心のバリアフリーを広げる活動を紹介し

募金箱ドレスアップコンテスト開催! スーパーマーケット「東急ストア」が2月に社内向け企画実施



◀最優秀賞を受賞した「東急ストアフードステーション旗の台店」の作品。「イラストを交えた「ラブちゃん募金の使い道」(写真中央)は、募金して下さるお客様やお客様など多くの方に募金の用途を知っていただきたく、感謝の気持ちを込めて作成しました」～店長談

● 編み物やペーパークラフト ● 従業員が腕をふるって

東京・神奈川を中心にスーパーマーケット92店舗を展開する東急ストア(設立1956年、従業員約10,000人)では、2022年2月、協会が盲導犬育成用に各施設へ設置をお願いしている「ラブラドル募金箱」を題材に、社内向けにドレスアップコンテストを開催しました。最優秀賞受賞店からは「受賞によって多くの方に盲導犬を知っていただけることはもちろん、ご家庭での盲導犬に関する会話につながったり、募金額が増えるきっかけになればうれしく思います」と喜びの声が届いています。

東急ストアでは2018年2月に募金箱の設置を開始し、現在までに協会へ1,000万円余を寄付いただいています。コンテストの目的は、会社と

して盲導犬育成支援をスタートさせたことを広く社内に知らせることでした。結果、予想をはるかに超えた盛況ぶり、特にパート従業員を中心に趣向を凝らした応募作品が多数あったと言います。

● 15年以上にわたる協会とのつながり

協会への支援はもっと以前から始まっていました。2006年に全東急ストア労働組合が設立50周年を迎えたのを機に、何か社会貢献活動を行おうということになり、協会の賛助会員になったのが始まりです。

以来、東急ストア店頭での盲導犬デモンストレーションを企画したり、従業員向けに盲導犬ユーザー接客セミナーを実施したり、富士ハーネスへ見学バスツアーを組むなど、盲導犬や視覚障害を知るための試みが数多く行われてきました。

● 盲導犬を知るためのさまざまな広報活動

盲導犬を知るための活動はきめ細かく組合広報誌「Atlas」に記載されています。富士ハーネスバスツアーでの施設見学を題材にした訓練犬・引退犬・医療研究犬の紹介のほか、協会職員によるデモンストレーションをもとにした、盲導犬へのかけ声「ストレートゴー」の意味や、段差での盲導犬の動作の意味が、写真と共に説明されています。盲導犬ユーザーへの声かけの仕方や、スーパー内での誘導の順序なども具体的に記されています。

また、富士ハーネス見学者による「ひたむきな姿に感動」「ハーネスとリードで動き方が変わる」「いかに訓練されているかわかった」「施設がきれい」「盲導犬を待っている人がいるから募金したい」などの声も載っています。

協会はこれからも東急ストア従業員のみならず、広く盲導犬、ユーザー、視覚障害全般への理解促進に努めて参ります。



↑盲導犬育成事業への理解と支援に感謝を込めて、協会から感謝状を贈呈しました。左は全東急ストア労働組合中央副委員長、右は協会渉外部職員

2021年度 事業報告・決算報告

盲導犬育成事業

1 視覚障害者に対する歩行指導及び盲導犬貸与

・35頭の盲導犬を育成し、36ユニットの視覚障害者に対する歩行指導及び盲導犬の貸与を実施。内訳は神奈川訓練センター17頭17ユニット、仙台訓練センター9頭9ユニット、日本盲導犬総合センター3頭4ユニット、島根あさひ訓練センター6頭6ユニット。代替が31ユニット、新規が5ユニット

2 盲導犬の認定

・東京パラリンピック開催に伴い、海外補助犬使用者期間限定証明書を発行

3 犬の飼育及び訓練

・候補犬137頭を訓練し、入所は66頭
 ・新たに雄2頭及び雌5頭を繁殖犬として登録。3月末現在で雄20頭、雌29頭の繁殖犬を保有。凍結精液は本年度協会で作製した255本を含め6,341本を保有
 ・子犬87頭を確保
 ・95頭をパピーウォーカーに委託、飼育の環境整備を継続
 ・訓練センターでのパピーレクチャーは126日、182回実施。動画配信及びオンラインも活用した
 ・島根あさひ訓練センターでのパピープロジェクトは4頭実施
 ・46頭47ユニットの盲導犬が引退あるいはユニットを解消
 ・犬舎及び医療管理では獣医師と連携し、早期治療に努めた。職員が医療セミナーに参加

4 盲導犬ユーザーに対するフォローアップ(FU)

・定期FUは181回実施。問題解決、健康相談などの非定期FUは315回実施
 ・コロナ感染対策として、出発式・FU実施を延期。盲導犬6歳時コミュニケーション会をオンライン形式に変更し、4回実施

5 盲導犬訓練・育成技術の向上

・指導効果を見える化し戦力分析を行うためのスキルマップ評価が定着

6 各種研修会等への参加

・第7回盲導犬育成ジャパンセミナーにオンライン参加。各種研修会に積極的に参加

7 施設整備

・神奈川訓練センター犬舎改築の設計案を製作。2022年夏頃着工予定

盲導犬歩行指導員等育成事業

1 盲導犬歩行指導員・盲導犬訓練士の認定

・全国盲導犬施設連合会認定資格の盲導犬訓練士に3人が認定
 ・協会内資格の准訓練士に3人を認定

調査研究事業

1 凍結精液の作製・繁殖研究

2 研究協力

・盲導犬の合格率向上、健康改善のため東京大学、麻布大学の研究に継続して協力
 ・東京大学・盲導犬歩行学研究室の遺伝子解析研究にゲノム精製のための血液を提供

視覚障害支援事業

1 盲導犬歩行についての理解促進

・盲導犬体験歩行会は26回、ステップアップ体験会は19回、盲導犬説明会は5回、オンラインセミナーは21回開催

2 ユーザーコミュニケーション

・FUとして定期聞き取り調査を実施、ならびにコロナ禍の協会状況を3回発信
 ・盲導犬6歳時コミュニケーション会をオンラインで4回開催し、ユーザー36人が参加

3 視覚障害者在宅生活訓練(白杖歩行訓練など)

・延べ701人に1,302コマの訓練を実施

4 リハビリテーション相談

・延べ218人から250回の相談対応

5 短期リハビリテーション訓練

・スマイルワン仙台で4回実施、12人参加

6 視覚障害児キャンプ

・コロナ禍のため中止

7 各種研修会への参加

・視覚障害リハビリテーション協会研究会など。オンライン研修会が増加

8 講師派遣、各種講習会の開催

・同行援護従業者養成研修や行政主催の相談会へ職員を講師として派遣
 ・目の見えない見えにくい人や支援者向けの講習会、ならびに災害に関する講習会を開催

9 『パートナーズ』の発行

・当事者向けに『パートナーズ』を年4回発行。オンラインによる「パートナーズカフェ」を実施

広報・普及推進事業

1 見学会の開催

・一般見学会438回、参加者7,322人。団体見学会65回、参加者1,923人。オンライン見学会3回、視聴数2,318回

2 センター外での活動

・街頭での理解促進活動38回、デパートやスーパーでの活動14回、「全国盲導犬普及キャンペーン」3回
 ・盲導犬、補助犬法理解のための実演・講演を53回、98校が参加したオンライン版6回を含め、盲導犬小中学校キャラバンを201回

3 広報活動

・会報誌『盲導犬くらぶ』を年4回、合計182,895部発行、音声CD1,340部を発行
 ・メディアリリースを23回実施。メディア掲載回数は976回
 ・SNS、ブログ運営。ホームページ訪問者数589,549人

2021年度決算

(単位:円)

科目	2021年度	前年度
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
基本財産等運用益	8,687,924	13,000,484
受取会費	267,136,776	262,197,816
事業収益	32,100,230	37,204,600
受取補助金等	11,744,276	16,396,011
受取寄付金	683,193,021	553,865,030
雑収益	289,116	776,722
指定正味財産からの振替額	25,354,958	115,157,741
経常収益計	1,028,506,301	998,598,404
(2) 経常費用		
盲導犬育成事業費	447,929,571	401,154,630
盲導犬歩行指導員等育成事業費	6,664,200	15,272,012
調査研究事業費	23,220,800	23,985,410
視覚障害者支援事業費	62,266,966	45,881,472
広報・普及推進事業費	185,455,688	173,953,756
関係団体協力事業費	1,330,289	621,132
訓練センター管理費	141,480,060	137,343,710
事業共通費(減価償却費等)	58,118,078	61,184,483
公益目的事業費計	926,465,652	859,396,605
法人管理費	101,900,247	131,416,461
経常費用計	1,028,365,899	990,813,066
当期経常増減額	140,402	7,785,338
2. 経常外増減の部		
当期経常外増減額	31,490,925	△7,712,747
当期一般正味財産増減額	31,631,327	72,591
一般正味財産期首残高	3,084,960,196	3,084,887,605
一般正味財産期末残高	3,116,591,523	3,084,960,196
II 指定正味財産増減の部		
基本財産等運用益	190,085	27,352
受取寄付金	1,091,901,660	572,745,626
特定資産評価損益	2,231,515	3,542,717
一般正味財産への振替額	△25,354,958	△115,157,741
当期指定正味財産増減額	1,068,968,302	461,157,954
指定正味財産期首残高	4,627,186,754	4,166,028,800
指定正味財産期末残高	5,696,155,056	4,627,186,754
III 正味財産期末残高	8,812,746,579	7,712,146,950

関係団体協力事業

・日本盲導犬協会ユーザーの会、ボランティア委員会との協力
 ・全国盲導犬施設連合会、全日本盲導犬使用者の会、アジア・ガイドドッグ・ブリーディング・ネットワークなどへの協力
 ・日本盲人福祉委員会、日本介助犬協会、視覚障害リハビリテーション協会等への協力
 ・国際盲導犬連盟(IGDF)への協力

その他事業

1 中長期計画の発表
 ・SDGsに賛同し貢献するために2030年までの中長期計画を策定

2 井上ビジョンの展開
 ・コミュニティセンターの構想を立て、候補地の選定に入った

3 人材育成
 ・職員研究発表大会を開催、同行援護従事者研修に職員3人を派遣し、資格取得。獣医療研修に獣医療関係職員3人がオンライン参加

4 東日本大震災支援
 ・被災した盲導犬ユーザーへのドッグフードや犬具などの支援を引き続き実施

5 協会ICTインフラの整備、デジタル化事業等
 ・インフラやネットワークの改善のほか、情報共有の仕組みを定着させ業務を効率化

生まれました

2022.4/3 誕生



オス3頭
 メス4頭
 父犬ヴィンス(LR)×
 母犬ベルナ(LR)

2022.5/11 誕生



オス4頭
 メス3頭
 父犬ライオン(GR)×
 母犬ポピン(GR)

2022.4/23 誕生



オス4頭
 メス3頭
 父犬ドミノ(GR)×
 母犬ローラ(GR)

みなさんに 支えられて

3月11日～6月10日

犬種記号
 LR/ ラブラドル・レトリバー
 GR/ ゴールデン・レトリバー

委託しました

父犬ルパーブ(LR)×
母犬チエス(LR)

パレット♂ 田邊 文章さん
 ポルト♂ 敦澤 芳晴さん

父犬カー口(LR)×
母犬クウ(LR)

レイチェル♀ 長谷川 実智子さん
 リーナ♀ 坪内 裕子さん
 ルカ♀ 刀根 尚貴さん

父犬ヴィンス(LR)×
母犬ベルナ(LR)

テク♂ 栗田 哲さん
 ティカ♀ 福居 純子さん
 トップ♂ 淀川 和裕さん
 テン♀ 大村 兼一さん
 テネシー♀ 岩田 紀子さん
 テトラ♂ 内田 晴美さん
 ティーナ♀ 中村 豊さん

父犬トーマス(LR)×
母犬ダナ(LR)

スキップ♂ 田村 賢嗣さん
 ステラ♀ 鳥海 由香さん
 シャンティ♀ 小林 修さん
 シオン♀ 後藤 優子さん
 スピカ♀ 小田切 清人さん

亡くなりました

犬名・性別	ユーザー名	ボランティア名	死亡日
ハウル♂	矢野 健さん	坪井 宏仁さん	2022.3.13
ボルカ♀	戸村 みどりさん	仁藤 孝子さん	2022.3.19
ポニー♀	繁殖引退犬	岩本 洋子さん	2022.3.25
ワンダー♀	繁殖引退犬	松川 信子さん	2022.3.25
エブリー♀	道畑 百代さん 道畑 秀夫さん	滝口 真也さん	2022.3.27
オルテガ♂	塚越 豊さん	武智 延良さん	2022.4.16
アーク♂	石田 隆雄さん	渡邊 睦子さん	2022.4.19
クーガ♂	川上 正信さん	井上 稔さん	2022.4.22
ジム♂	山本 誠さん	赤羽 秀治さん	2022.5.10
ヘレナ♀	田名部 功さん	榎本 正さん	2022.5.12
ラルゴ♂	繁殖引退犬	壁谷 英則さん	2022.6.1

盲導犬育成状況

合計頭数...731頭(2022年7月6日現在)

委託前パピー	21頭	繁殖犬	48頭
パピー	85頭	PR犬	19頭
訓練犬	80頭	引退犬	169頭
盲導犬	252頭	繁殖引退犬	57頭


協会ブログでは、
子犬の子育て日記など掲載中!
<http://ameblo.jp/jgda-guidedog/>

引退しました

犬名・性別	ユーザー名	ボランティア名	引退日
リボン♀	寺脇 陽一郎さん	金谷 陽子さん	2022.3.7
アイラ♀	細井 京子さん	調整中	2022.3.14
ディーオ♂	今岡 秀子さん	河野 鉄平さん	2022.3.23
ライラ♀	小宮 祐子さん	川崎 豊さん	2022.4.13
フーマ♂	中村 明雄さん	祖山 幸代さん	2022.4.24
ホビー♂	酒井 正信さん	上田 かつおさん	2022.4.25
ヴェガ♀	高橋 恵美子さん	調整中	2022.5.4
イクション♂	水口 茂生さん	山梨 京子さん	2022.5.8
エアロ♂	清水 健男さん	星 恭子さん	2022.5.9

みなさんと協会をつなぐ

ハーネスひろば



みなさんから届いたメッセージや協会からのお知らせなどを紹介します

私 たち家族と16年半を一緒に過ごした愛犬ルークが亡くなって3年半が経ちます。最期は妻の腕に抱かれて眠るように亡くなりました。2002年2月2日生まれのラブラドル・レトリバーでした。家族で「2月2日生まれのラブ犬はきっとルークの生まれ変わりだね」と話していた矢先、『盲導犬くらぶ』106号の「みなさんに支えられて」を見てビックリ！同じ誕生日の子犬たちが載っていたのです。とてもうれしくて、もう一度ラブ犬と暮らしたいと思うように。早速ルークを購入したときのブリーダーを訪ね、ルークの血統を継ぐ子犬を迎えることになりました。現在は部屋の改修などしてルーク2世との生活を心待ちにしています。

静岡県沼津市 金原 浩一さんより

編集室より

●『盲導犬くらぶ』の感想やご意見、盲導犬との出会いやエピソードなどを盲導犬くらぶ編集室までぜひお寄せください。1通1通のお便りが私たちの大きな励みとなります。

●あて先
公益財団法人日本盲導犬協会 盲導犬くらぶ編集室
〒150-0045 東京都渋谷区神泉町21-3-3F
FAX:03-5452-1267 email:info@moudouken.net

事業者のみなさまへ

申込受付中!

2022年度『オンライン』
盲導犬ユーザー受け入れ・接客セミナー

協会では、スーパーや小売店、医療機関などの事業者向けに、盲導犬ユーザーの受け入れや視覚障害者への接客に関するオンラインセミナーを開催しています。昨年度の参加者は603人でした。安心して受け入れていただけるよう具体的な対応方法を解説しています。全国から参加可能です。事業者のみなさまのご参加を心よりお待ちしております。

スーパー (小売店)向け	2023年1月23日(月) 14~15時 3月 9日(木) 14~15時
医療機関 向け	2022年10月1日(土) 15~16時 2023年2月21日(火) 19~20時

お申込み・詳細は、協会ホームページにてご確認ください。
右記QRコードから読み取りいただけます。



【お詫びと訂正のお知らせ】

前号(106号)の「Heart to Heart」にて掲載いたしました株式会社バリミキ岡村敦司さまの紹介について、下記の通り誤りがございました。訂正させていただくとともに深くお詫び申し上げます。
誤) JOA認定オプトメトリスト
正) 公益社団法人日本眼鏡技術者協会 認定眼鏡士SSS級
(2022年3月現在)



アキバ AKIBA FUCOIDAN
アキバ フコイダン

秋葉薬品は
日本盲導犬協会を応援しています。

秋葉薬品株式会社
tel.03-5577-5645
akibayakuhin.com/fucoidan/



無理なく、続けられる
ナチュラリープラス®
The Global Healthcare Company

私たちは盲導犬の育成支援・普及活動を通じ、皆さまの健やかな暮らしを応援しています。

株式会社 ナチュラリープラス 〒106-6035 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー35F
TEL 03-6230-3311 FAX 03-6230-3011 URL <http://www.naturally-plus.com>




intage
Know today, Power tomorrow

株式会社インテージでは、アンケートモニターの皆さまの善意により、謝礼の一部を日本盲導犬協会に寄付させていただいております。

株式会社インテージ
<http://www.intage.co.jp/>

 キューモニター募集
<https://www.cue-monitor.jp/>



お客様からご注文いただいた商品1袋につき1円をいちえん あいききん『一縁のeye基金』として積み立て、その一部を盲導犬育成支援に活用しています。

あなたから始まる次代への健康物語
わかさ生活
WAKASA